

ウスイロヒョウモンモドキ 鱗翅目 (チョウ目) タテハチョウ科

Melitaea protomeia protomeia (Ménétriès, 1859)

鳥取県：絶滅危惧I類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧I類 (CR+EN)



鳥取市佐治町三原台 2005.7.10 / 撮影：鶴崎展巨

■**選定理由**：生息地が1カ所のみとなり，絶滅の恐れがきわめて高い。

■**特徴**：ススキの優占する丘陵地～山地の乾性草原に生息。成虫は6月下旬より7月に発生。幼虫の食草はオミナエシとカノコソウで，根元近くの葉裏に産卵，幼虫は枯葉で巣を作り越冬。

■**分布 県内**：岩美町から日南町まで連続的に分布していたが，1980年代後半から激減した。現存生息地は鳥取市佐治町の1カ所のみ。**県外**：兵庫県～鳥根県（現存する生息地は5カ所のみ）；アジア大陸北部～朝鮮半島。

■**保護上の留意点**：生息地の一部で草刈り等の対策がとられたが，現在も遷移が進行中で，定期的な草刈りの継続が必要。産卵に際しては細かく環境を選択するため，広く刈り広げて，過去のように多様な環境を含む大面積の草原を復元する必要がある。火入れは幼虫が死滅するため不適。

■**特記事項**：鳥取県特定希少野生動植物。

■**文献**：77.

執筆者：永幡嘉之